

くさの
草野校区の
文化財マップ

久留米市

草野校区の文化財

草野町は久留米市街地の東部に位置し、東はカッパで有名な田主丸町に接します。北に筑後川を望み、屏風を立て連ねたような起伏の少ない嶺を持つ耳納連山の北麓に、古くは中世の豪族「草野氏」の勢力を背景に筑後国の一大拠点として、また江戸時代には豊後へ通じる日田街道の宿場町として栄えました。

また、古代においては、日本で米作りが本格的に始まった、今から2000年前の弥生時代の遺跡として、東諸富遺跡や春遺跡から竪穴住居の跡が確認され、当時よりこの地域に人々が生活していたことが分かりました。次の古墳時代になると下馬場古墳や前畑古墳などの装飾古墳が多く造られ、うきは市域を含めた耳納北麓に見られる独自の古墳文化を形成しています。

中世の草野一族が活躍した平安時代末から安土桃山時代にかけての約400年間における栄枯盛衰の面影は、今なお北麓に営まれる寺院や神社、中世の城跡など、随所に見ることができます。草野氏の居城である竹井城や癸心城、一族によって創建された須佐能袁神社や若宮八幡宮などは、現在も地元の氏神として祀られています。

現在、「久留米市伝統的町並み保存地区」として江戸時代から近代初期の建造物が整備され、草野の山辺道沿いには鹿毛家住宅に代表される町家の町並みや、旧草野銀行の建物を活用した草野歴史資料館、病院建物を復元整備した山辺道文化館の他、隣り合う矢作地区にも江戸時代から大正時代の地主や豪農たちが築いた農村集落の町並みが残っています。年1回「まちかど博物館」として、これらの建造物が一般公開され、大勢の観光客で賑わいます。

このように草野校区には、古代から近代にいたる歴史的な風景が地元の皆さんによって守られてきました。

緑豊かな山麓の風景と、歴史的な魅力が調和した草野校区に、あなたもこの『文化財マップ』を片手に、ちょっとした時間旅行へ出かけてみませんか？



須佐能袁神社社頭での獅子舞（市指定）

■こんなにあるぞ!草野校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	山本郡糸里	平安～鎌倉	田んぼや畑を畧盤の目のように区画して整備した、古代の耕地整理の跡が現代の地形にも残っています。
2	推定される古代の山辺道	奈良～平安	筑後国から豊後国(今の大分県)に向かう道が、このルートに推定されます。
3	南面松遺跡	古墳・鎌倉	草野氏城下町の北端にあり、築地が設けられていたようです。
4	不合原遺跡	鎌倉	竹井城から見下ろす草野町吉木一帯には草野氏が整備した城下町が広がっており、この付近には草野氏に仕えた家臣団の住まいがあったと考えられています。また城下町の南には草野氏の館(吉野尾館)がありました。
5	江下小路遺跡	鎌倉	
6	合原遺跡	古墳・鎌倉	
7	原小路遺跡	鎌倉	
8	西江下小路遺跡	鎌倉	
9	善長寺遺跡	鎌倉	草野家代々の菩提寺でした。
10	上江下小路古墳	古墳	装飾古墳と伝えられますが、石室は大きく崩れています。
11	江下小路古墳	古墳	納骨堂の北側にある円墳です。
12	合原古墳群	古墳	4基の円墳が確認されています。
13	古町遺跡	古墳～鎌倉	草野氏の城下町にあたり、商人や職人の住まいがあった場所と考えられます。
14	東諸富遺跡	弥生	竪穴住居跡や瀬戸内地方の土器などが見つかりました。
15	吉木古墳群	古墳	下馬場古墳をはじめ、たくさんの古墳が築かれました。現在も10基近い古墳が残っています。
16	野付遺跡	弥生～江戸	いろいろな時代の土器が見つかっています。
17	竹井城	鎌倉～戦国	山の斜面にある草野氏の居城跡で、土塁や堀の跡が残っています。
18	竹井城(物見やぐら)	鎌倉～戦国	居城より200m近く高い場所に設けられた物見やぐらです。
19	宮若尾遺跡	不明	時代は分かりませんが、土器などが見つかっています。
20	唐谷遺跡	不明	お寺があったのではないかと考えられています。
21	上東屋敷遺跡	不明	時代は分かりませんが、土器などが見つかっています。
22	中浦田遺跡	弥生・鎌倉	色々な時代の土器などが見つかっています。
23	中浦田古墳群	古墳	複数の円墳がありましたが、今は残っていません。
24	山王山古墳	古墳	山王宮の北西にある円墳で、石室は大きく壊れています。
25	道の上古墳	縄文～鎌倉	いろいろな時代の土器が見つかっています。
26	鹿毛塚古墳	古墳	装飾古墳(円墳)でしたが、今は残っていません。
27	南屋敷古墳	古墳	須佐能袁神社(お旅所)の下にある古墳です。
28	薬師下北古墳	古墳	丸や三角の模様が描かれた装飾古墳でしたが、今は残っていません。

29	やく し しもみなみ 葉師下南古墳	古墳	装飾古墳で、旗をもって馬に乗った人物などが描かれていましたが、今は残っていません。
30	つか ばら 塚原古墳群	古墳	たくさん <small>の</small> 円墳がありましたが、今は1基 <small>が</small> 残るのみです。
31	うち ばた 内畑古墳	古墳	昭和61年に調査された円墳で、石室内からは勾玉や耳飾り、須臾器、鉄製の武器などが出土しました。
32	いもほらい 芋払古墳群	古墳	夫婦木川の上流に位置する古墳群で、既に壊れた古墳もありますが、幾つかの古墳では石室が残っています。
33	ぼっ しん だに 発心谷古墳群	古墳	発心公園の上方にある古墳群です。
34	い せの まえ 伊勢前古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
35	ことばやしはる 紅桃林春遺跡	縄文～弥生	縄文土器や、弥生時代の竪穴住居跡などが見つかりました。
36	はる 春古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
37	おお や しほ 大屋敷遺跡	弥生～古墳	甕棺墓や石棺墓が見つかっています。
38	おお や しほ 大屋敷古墳	古墳	円墳で、頂部の祠には月読命が祀られています。
39	やま の しに 山ノ下古墳	古墳	装飾古墳だったようですが、今は残っていません。

■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
40	しも ば こ ふん 下馬場古墳	史跡 (国指定)	6世紀後半に築かれた円墳で、石室内の壁には赤と青で、円や三角の模様、船などが描かれています。
41	し ほん せき 紙本着色 わか みや はち まん ぐう えん ぎ 若宮八幡宮縁起	絵画 (市指定)	かつて当地を支配していた草野氏の居城や武家屋敷、町並み、武者行列の様子などが描かれています。
	わか みや はち まん ぐう 若宮八幡宮の しん とう ぎょう じ 神幸行事	無形民俗文化財 (市指定)	一年おきに9月に行われる神幸行事で、地元では「放生会」と呼ばれています。
42	まえ ばた こ ふん 前畑古墳	史跡 (県指定)	石室の壁には鮮やかな赤色で円の模様が描かれており、耳飾りや鉄製の武器などが出土しています。
43	か げ け じゅうたく 鹿毛家住宅	建造物 (県指定)	宿場町として栄えた草野の町並みを象徴する住宅で、18世紀末ごろの建築と考えられています。
44	せん ねん じ もく ぞう 専念寺の木造 あ み だ にょらいりゅうきう 阿弥陀如来立像	彫刻 (国指定)	一木造りで表面には漆が塗られています。鎌倉時代の作品と考えられています。
45	す きの お じん じや ほん だん 須佐能袁神社本殿、 はい 拝殿、楼門	建造物 (県指定)	平家の討伐に軍功のあった竹井城主の草野永平が、鎌倉時代に創建したものと伝えられています。
	す きの お じん じや 須佐能袁神社の しん とう ぎょう じ 神幸行事	無形民俗文化財 (市指定)	風流・獅子舞・大名行列からなる神幸行事で、夏休みに行われます。
46	なが いわ やま 長岩山のサザンカ じ せい ち 自生地	天然記念物 (県指定)	自生のサザンカが群生するのは非常に珍しく、11月中頃には白い花が咲きます。
47	ぼっ しん じょう あと 発心城跡	史跡(県指定)	天正5年(1577)に草野氏によって築かれた山城です。

■草野校区の歴史年表■

草野校区のできごと	時代	西 暦	日本のできごと
* 人々の生活が始まる (合原遺跡)	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
		10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
	縄文	400 紀元前	稲作が伝わる
* 集落がつくられる (東諸富遺跡)	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める
		300	古墳が造られ始める
	古墳	500	筑紫君磐井の乱 (527) 仏教伝来 (538)
* 装飾古墳がつくられる (下馬場・前畑古墳) * 水縄山地北麓にたくさんの群集墳がつくられる (吉木古墳群、芋払古墳群など)	飛鳥	600	群集墳が盛んにつくられる
700		大化の改新 (645) 白村江の戦いで大敗北 (663) 筑紫大地震 (679) 平城京に都を移す (710) 筑後国府・国分寺がつくられる	
* 竪穴住居と高床倉庫からなる集落ができる (東諸富遺跡)	奈良	800	平安京に都を移す (794)
* 草野永経が肥前国高木から草野吉木に住む (竹井城跡) (長寛2・1164)	平安	1200	鎌倉幕府の成立 (1192)
* 草野永平、須佐能袁神社を造る (建久8・1197)	鎌倉		室町幕府の成立 (1336)
* 草野家清、竹井城より発心城へ移る。 (発心城跡) (天正5・1577)	室町	1400	応仁の乱 (1467)
		1500	豊臣秀吉の天下統一
* 豊後街道(日田街道)の宿駅として栄える * 鹿毛家住宅が造られる (1780頃)	桃安山土	1600	江戸幕府の成立 (1603)
		江戸	1900

草野校区 ぐるっと文化財

至久留米

JR久大線

ふれあい農園

旧目田街道・山辺道

草野小学校

鹿毛家住宅

専念寺

至日田

山辺道文化館 (駐車場あり)
草野歴史資料館 (駐車場あり)

須佐能袁神社

下馬場古墳

前畑古墳

若宮八幡宮

長岩山の
サザンカ自生地
(駐車場あり)

発心城跡(駐車場あり)

筑後草野駅

至田主丸

くさの 草野校区の文化財マップ



14 ひがし もろ ども い せき しゅつ と やよい と き
東諸富遺跡出土の弥生土器



40 しもばばこふん
下馬場古墳
(国指定)



石室内に模様を描いた
装飾古墳です。
見学を希望される方は
文化財保護課までご連絡
ください。

くさの れき しりょう かん <国登録文化財>草野歴史資料館



【旧草野銀行本店】

開館時間：午前10時～午後5時
入館料：100円(小・中学生50円)
休館日：月曜日・祝日の翌日(日曜日を除く)・年末年始
お問い合わせ：0942-47-4410

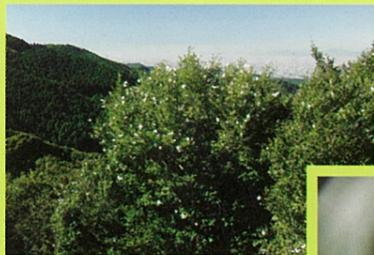
やま べのみち ぶん かん <国登録文化財>山辺道文化館



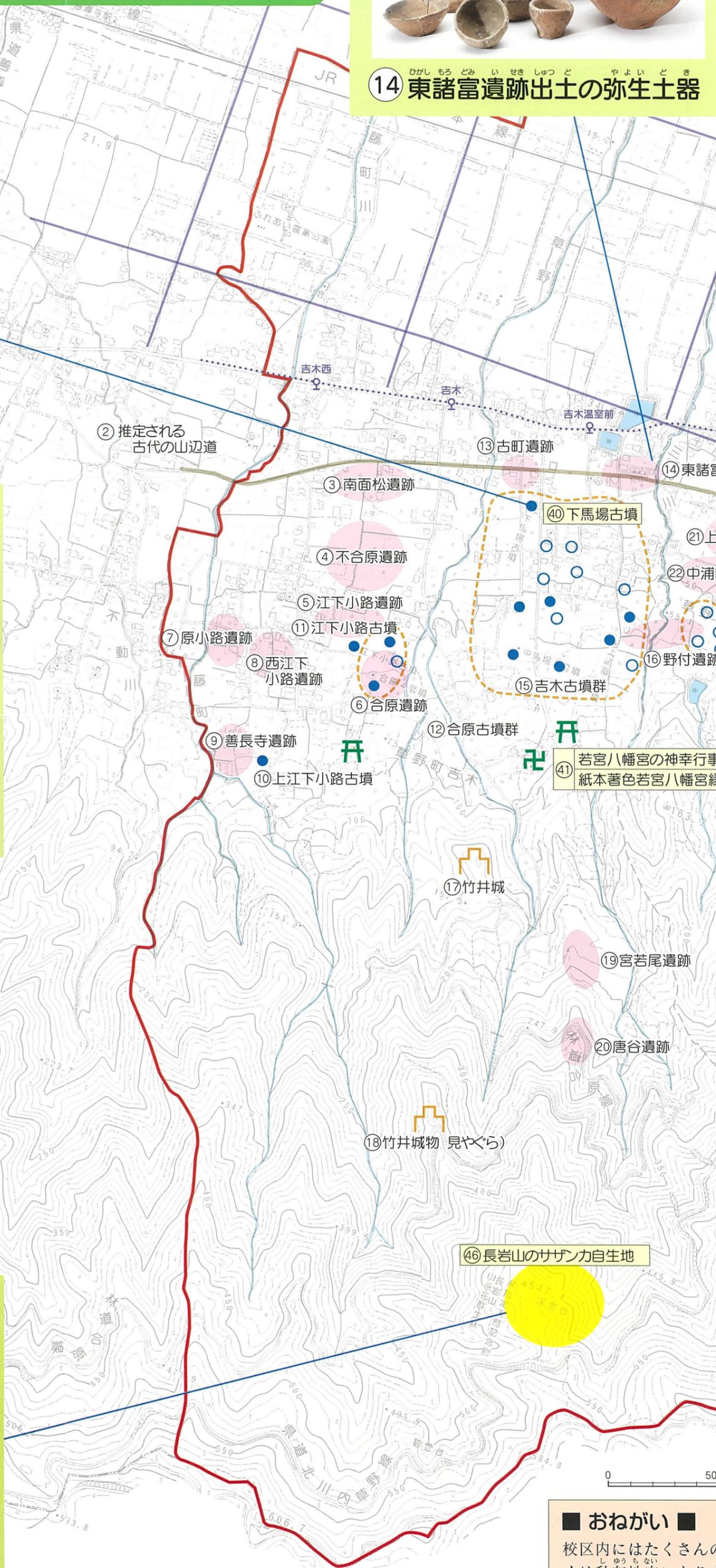
【旧中野病院】

開館時間：午前10時～午後5時
入館料：無料
休館日：月曜日・祝日の翌日(日曜日を除く)・年末年始
お問い合わせ：0942-47-3015

なが いわ やま 46 長岩山の サザンカ自生地 (県指定)



11月中ごろに湊雲台付
近に白い花が咲き乱れ
ます。



■ おねがい ■
校区内にはたくさんのお寺や神社があり、多くは私有地内にあります。無断で敷地内に立ち入り禁止です。

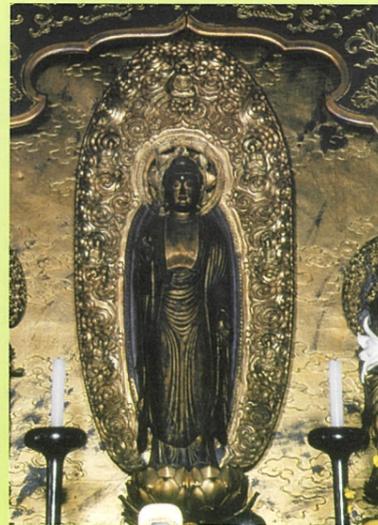


42 前畑古墳(県指定)



43 鹿毛家住宅(県指定)

44 専念寺の木造阿弥陀如来立像



*なお、仏像は一般には公開していません。(国指定)

45 須佐能袁神社(県指定)



ろうもん
(楼門)

はいでん ほんでん
(拝殿、本殿)



31 内畑古墳から出土した須恵器



47 発心城跡(県指定)

凡例

- 主な遺跡
- 今も残る古墳
- 無くなった古墳
- 古墳群の範囲
- 城跡
- 条里界線
- 石造物など
- 神社・寺院
- 建造物
- 指定文化財
- バスの路線
- 草野校区の範囲

古墳が残っていますが、その多くは古墳などを見学する時には見ることができません。見学する際には見学できないようにしましょう。

■ 装飾古墳って何? ■
石室の壁に絵や模様が描かれた古墳を「装飾古墳」と呼びます。福岡県内には約70基の装飾古墳が存在しています。久留米市内では21基が確認されていますが、その内11基は草野校区内にあります。

久留米市埋蔵文化財センターのご案内



市内の遺跡から出土した土器や石器・金属器などの遺物をはじめ、発掘調査や整理作業の際に作成した図面・写真などの記録類を収蔵・整理・研究するための施設です。

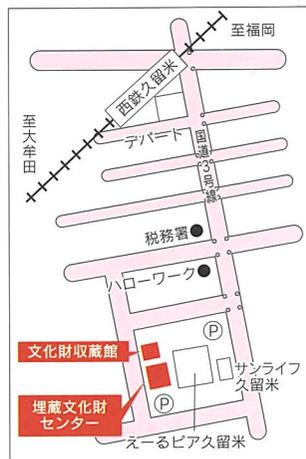
当センターでは、資料の貸し出しや閲覧、文化財に関するご相談にも応じています。また、毎年秋には「考古資料展」を開催し、収蔵資料の公開を行っています。

ふるさとの歴史に関心をお持ちのみなさん、ぜひお越しください。お待ちしております。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



■文化財についてのお問い合わせは

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)

☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830-6(えーるピア敷地内)

☎0942-34-4995 FAX 0942-34-5045

草野校区の文化財マップ

平成21年3月31日改訂

発行：久留米市

編集：文化観光部文化財保護課

〈表紙〉下馬場古墳の石室内部
(国指定)